

クアップする取り組みを行っていません。その施策には、宇陀市をどうにかしたいという住民の思いが大きく影響しています。行政がその気持ちに応えたことで、地域の活性化につながり、子どもたちの地域愛を育むなど更なる効果が表れていました。

地域で子どもたちを育てる意義や、住民の地域を想う気持ちを行政が十分に理解して支援することは、今後の廃校の利活用の際にも発想の多様性を妨げず、より良い方向性を得られる取り組みだといえます。本市にとっても大変参考になる事例でした。

【綾部市】

綾部市は、教育の基本構想に「ふるさと『あやべ』を愛し、生きる力を身に付けた子どもの育成」を掲げ、平成27年度から市内全域で小中一貫教育を実施しています。

子どもたちが、綾部で育つことに誇りと自信を持ち、将来に夢をもって生きていけるように、家庭、地域社会、関係諸機関との連携のもとに特色ある教育が推進されています。

上林小中一貫校は施設一体型の小規模校として平成27年度に開校し、全校児童生徒45名、教職員29名で2年目をむかえます。ふるさと教育、キャリア教育、国際理解教育など小中一貫校ならではの地域に根差した魅力ある教育が実践されています。



【上林校 英語掲示板】

同市は一時期、児童の減少による学校の統廃合を進めましたが、学校存続を求める地域住民の動きは大きくなり、このことが市の学校統廃合の行政方針を替えさせました。行政が限界集落を切り捨てるのではなく、地域を守り地域の活性化を住民とともに考えるようになったことは、大変意義あることだと思います。

子どもたちが確かな学力と豊かな心を育み、保護者が子どもを学ばせたいと思える学校をつくり、独自の特色ある教育を推進することができれば、子どもたちの学力向上、地域の活力向上ひいては人口流入など波及効果は大きいと思われます。

これからは、小中一貫教育に取り組むべきであると感じました。

特別委員会の動き

企業対策特別委員会

9月8日に委員会を開催し、理事者から坊ノ上用地への進出企業について説明を受けました。既に同用地内に冷凍庫を設置している智洋水産株式会社、用地面積約3千252平方メートルを売却価格約2千536万円で分譲予定であるとの報告でした。同社は、伊万里市に本社を置き、アジ、サバ、イカなどの凍結加工を行う冷凍水産物製造業で、売却地に冷凍工場の建設を計画しており、平成29年4月から操業を開始し、従業員10名が新規雇用される予定とのことでした。

西九州自動車道整備促進特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、11月22日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また、同月24日、25日の両日に国土交通省、財務省及び自民党本部並び

に長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成及び道路整備予算の安定的な財源確保について要望を行いました。

特別委員会の新設

市議会議員定数等特別委員会

平成28年第4回市議会定例会最終日に市議会議員定数等特別委員会を設置いたしました。

この委員会は、議員の定数及び委員会構成など今後の市議会の運営に関する件を所管し協議検討いたします。

委員会は、議長を除く全議員で構成し、委員長及び副委員長は次のとおり決定いたしました。

委員長 白石光一郎
副委員長 山口芳正

平成28年12月21日設置